

(株) 中農組 環境行動計画

平成20年5月23日

取組方針

株式会社 中農組は、『地域社会のトータルサービス業に徹する』ことをモットーに、地域の中において土木構造物の提供とその維持管理を中心に建設サービスを行っています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地域環境との調和、地域社会との連携を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の活動に取組みます。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源に努める。
- ② 工事部門、事務部門における産業廃棄物の削減とリサイクルを進める。
- ③ グリーン購入の推進に努める。
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・頓）活動を徹底する。

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年5月1日

株式会社 中農組

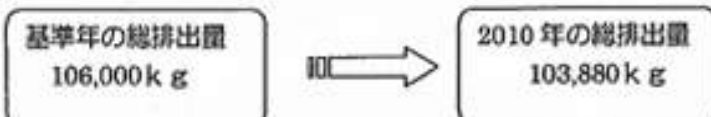
代表取締役社長 中農 清隆

3 環境負荷の低減目標と具体的な取組

環境負荷の概要より、2010年に向けての当社の環境負荷の低減目標を下記のように設定しました。(基準年度の数値的な排出量及びリサイクル率は、平成17年・18年の平均値です。)

【目標1】

二酸化炭素の総排出量を、2010年までに2%削減する。

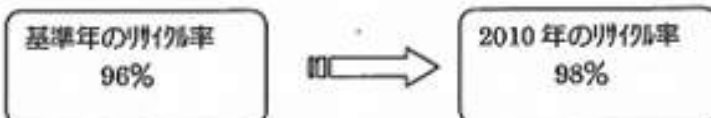


<具体的な取組>

- ① 空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)を徹底する。
- ② 空調、冷房設備の保守点検をこまめに行う。
- ③ 昼休みの消灯、夜間・休日前のパソコンの電源OFFを徹底する。
- ④ 扇風機の利用により、事務室の冷媒効率をあげる。
- ⑤ エアコンやストーブの使用中は、フィルターの清掃をこまめに行う。
- ⑥ アイドリングの防止と運転方法の配慮(急発進・急加速等)を行う。
- ⑦ 車検の点検を定期的に行い、記録する。
- ⑧ 社用車の効率的な使用(運転経路・相乗り)を徹底する。

【目標2】

産業廃棄物のリサイクル率を、2010年までに98%に近づける。

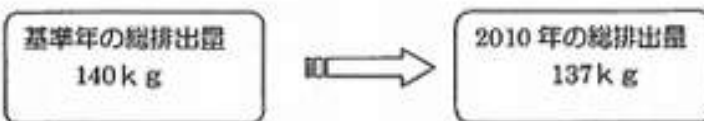


<具体的な取組>

- ① 廃棄物の置場を再整備し、分別を徹底しリサイクルに努める。
- ② 廃棄物管理票(マニフェスト)を整理し、リストの作成・適正処理のチェック等、管理を徹底する。
- ③ 廃棄物の中間処理場等を、定期的に直接チェックする。
- ④ 木くず、コンガラ、Asガラ、残土等 建設副産物の削減、リサイクルに努める。

【目標 3】

コピー用紙や紙の総使用量を、2010年までに2%削減する。

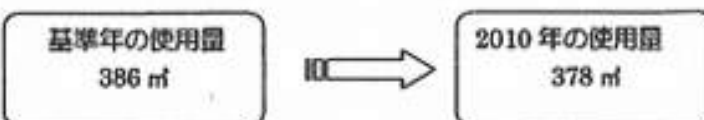


<具体的な取組>

- ① 社内資料は、両面印刷・裏紙利用に努める。
- ② FAXの設定を確認し、不要なFAX印刷を停止する。
- ③ 書類、資料の電子データ化を進め、不必要な印刷はしない。
- ④ コピー機の場所に、“節約”の標語シールを貼付し各人の節約意識を高める。
- ⑤ コピー用紙、トイレトーパー等の各月の使用量を記録する。

【目標 4】

水使用量を、2010年までに2%削減する。



<具体的な取組>

- ① 雨どいの水をタンクに貯め、雨水利用を行う。
- ② トイレに「水流し音発生器」を取付け、トイレ用水を節約する。
- ③ トイレタンクに、水を入れたペットボトルを入れることにより、1回の排出量を節約する。
- ④ 水道蛇口の箇所に、節水を呼びかける標語シールを掲示する。
- ⑤ 水道配管からの漏水を、定期的に点検する。

【目標 5】

事業所で使用する消耗品は、環境に配慮した物品等を購入・使用する。

<具体的な取組>

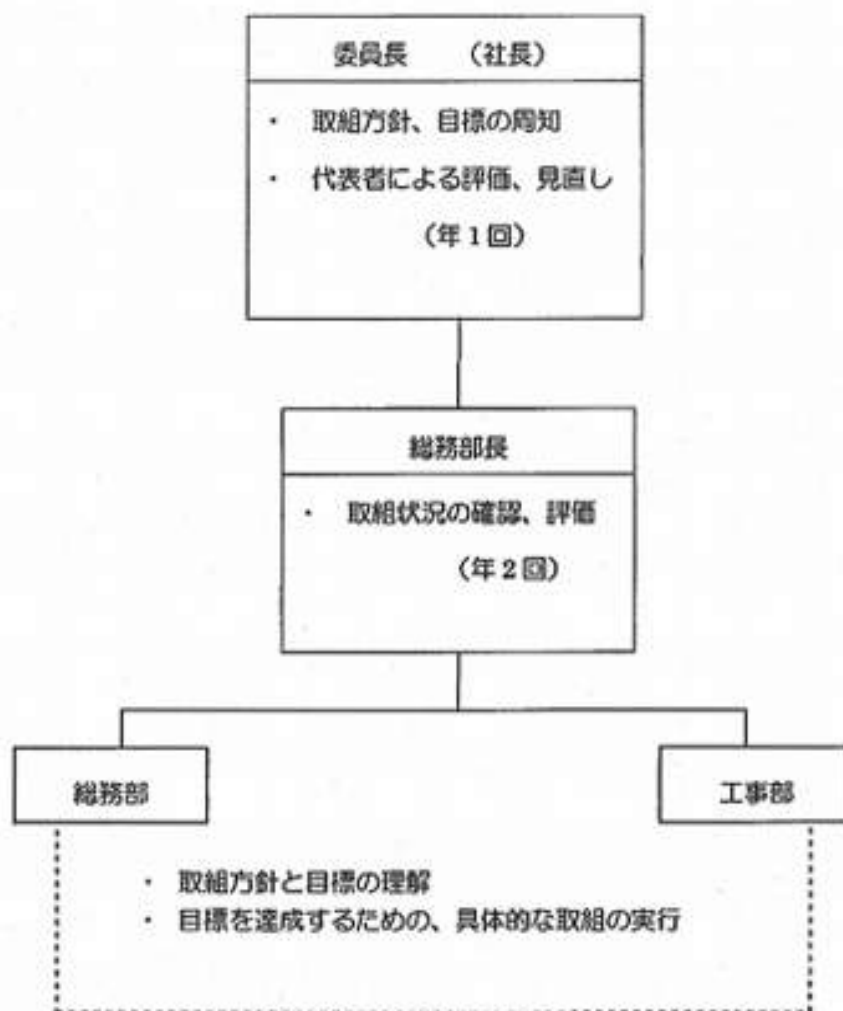
- ① コピー用紙、トイレトペーパー、名刺、その他の紙について再生紙やグリーン製品への転換を進める。
- ② 再使用又はリサイクルしやすい製品を、優先的に購入する。
- ③ 環境に配慮した製品の、基準・リストを作成する。

《その他の取組》

- ・ 毎月、全員による倉庫、事務所の点検を行い5S活動を徹底する。
- ・ 環境意識を高めるために、各自の役割・責任を明確にする。

4 環境行動計画の実施体制

<中農組環境推進委員会>



上記の体制で、平成20年7月1日より環境保全活動を推進するために、具体的な取組を実行します。